

# 京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

10頁～11頁 2014年 大塚司教の主要予定

京都教区広報委員会  
編集長 村上透磨  
京都市中京区  
河原町通三条上る  
TEL 075-211-3468  
FAX 075-211-4345  
kouhou@kyoto.catholic.jp

点訳版「京都教区時報」(無料)  
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。  
TEL・FAX 0794-31-8601

2014年 司教年頭書簡

## 神の「貧しさ」を生きる

「貧しい人々への優先的選択(Option for the poor)」

京都司教 十パウロ大塚喜直

### ■ 「貧しい人々のことを忘れないでください」

忘れないでください」

2013年3月、教皇ベネディクト16世の引退とともに、行われたコンクラーベ(教皇選挙)で、第266代の教皇に選出されたベルゴリオ枢機卿が、ある枢機卿からかけられた言葉です。新教皇は、なぜフランシスコと名乗ることを望まれたのかについて、ご自身で明かされています。「『貧しい人々。貧しい人々』このことばが、わたしの中に入ってきた。そして、その後すぐに貧しい人々との関連で、アジジのフランシスコのことを考えました。それから、投票のすべての計算が終わるまで、戦争のことを考えました。フランシスコは平和の人です。

こうして、アジジのフランシスコという名前がわたしの心に入ってきました。」

教皇フランシスコの登場は、現代のカトリック教会にとって摂理的だと思います。というのも、第二バチカン公会議を契機に(教会憲章8項参照)、「貧しい人々への優先的選択」(Option for the poor)を推進してきたカトリック教会が、現代世界に対して自ら告げる福音の信ぴょう性を証しするために、今こそ自らが、貧しくなるか否かの選択の時代に來ているからです。

「貧しさ」ということばは、意外とあいまいなことばです。「貧しさ」の反対の「富」や「豊かさ」という概念も、とりようによつて意味が異なります。そこで、「貧しさ」という概念を「物質的」なもの



1  
2014

のと「精神的」なものに分け、さらにそれぞれ「否定的」なものと「肯定的」なものに分類してみます。

否定的な「物質的貧しさ」とは、人間性を奪うもので、根絶すべき貧困です。肯定的な「物質的貧しさ」とは、信仰によってあえて自発的に求めていく福音的な貧しさです。

否定的な「精神的貧しさ」とは、人が富に溺れることで、人間としての精神的・靈的価値を持たない状態を指します。

肯定的な「精神的貧しさ」とは、人が神への信頼によって、柔和で謙遜になれる靈的な状態を指します。

そこで、今年の年頭書簡では、貧しさについてのパート1として、「物質的な貧しさ」について取り上げて、来年パート2として、「精神的・靈的な貧しさ」について考えます。

## 1. 貧しい人のために貧しくなる

〔人格的センス〕

旧約時代の神は、「貧しい者の叫びを聞かれる」、「弱い者、貧しい者をあわれまれる」「圧迫されている者に正義をも



たらされる」というように、「貧しい者のための神」として描かれますが、新約時代では、神ご自身が「貧しい者になられた」のです。父なる神は、人類を救う

ためには御子をこの世に遣わし、御子は、この世で貧しさと弱さを身に帯びられました。

「貧しい人々への優先的選択」は、神ご自身の選びであり、旧約の預言者たちのことばやマリアの賛歌（ルカ1・46～55）、そしてイエスの真福八端のことば（マタイ5・1～12、ルカ6・20～26）にこだましています。

この神の選びは、「貧しい人々は、幸いである」という「祝福」と、「神の国はあなたがたのものである」という「約束」をもたらします。神の「約束」は、

神からの「賜物」であり、それは、わたしたちにとって「招き」という神の望みでもあります。というのも、「貧しい人々

貧しい人々に対する現代人の罪は、見ても見ないふりをする「無関心」です。イエスが最も咎められた態度です。「道の反対側を通っていく」ことです（ルカ10・31よいサマリア人のたとえ）。「門前のラザロのことを無視することです（ルカ16・20）。新約聖書では、キリストご自身が貧しい者となられたので、貧しい人々を侮ってはならないと教えています。「富んでいるあなたがたは、不幸である、あなたがたはもう慰めを受けていません」（ルカ6・24）や、「はっきり言って

「への優先的選択」は、神の招きに人間がどのように応答すべきかの倫理の基準となります。現代のカトリック教会も、わたしたち一人ひとりのキリスト者も、貧しい者に対する神のやり方に敬い、「貧しい人のために在ること」と、「貧しい人であること」の2つの基本姿勢を、真摯に検証してみましょう。

## 2. 貧しい人を心にとめる

〔発見的センス〕

貧しい人々に対する現代人の罪は、見ても見ないふりをする「無関心」です。イエスが最も咎められた態度です。「道の反対側を通っていく」ことです（ルカ10・31よいサマリア人のたとえ）。「門前のラザロのことを無視することです（ルカ16・20）。新約聖書では、キリストご自身が貧しい者となられたので、貧しい人々を侮ってはならないと教えています。「富んでいるあなたがたは、不幸である、あなたがたはもう慰めを受けていません」（ルカ6・24）や、「はっきり言って

おく。金持ちが天の国に入るのは難しい（マタイ19・23）というように、キリストが富める者たちを痛烈に諭したことばを忘ることはできません（ルカ16・19～31参照）。

世界のいたる所で、戦争や紛争、また自然災害によって、飢え、渴き、病み、見捨てられ、難民となり、移住する人々のことを、わたしたちはマスメディアを通じて見聞きしています。自分たちの街でも、貧しい人々を見かけています。でも、貧しい人の存在に慣れてしまっています。また仕方がないと諦めてしまいます。貧しい人々に無関心でいると、人間の残酷さ、冷たさ、他人の痛みに対する鈍感さ



が常態化して、貧しい人々に対しても無感情になってしまいます。わたしたちは、まず貧しい人々に無関心でいることに良心の呵責を感じ、貧しい人々の苦悩に心を向けましょう。貧しさの悲惨さに対しても心の目を開き、そこに何があつて、何を見ていいなかたかを知るのです。痛悔と憂いの気持ちで、貧しい人を心にとめましょう。

### 3. 貧しい人に福音を告げる

#### 〔認識的センス〕

キリスト者は、貧困を単に社会経済の問題として捉えるだけでなく、福音的な視点から見る必要があります。イエスの時代の貧しい人々とは、物質的な貧しさ

だけでなく、宗教的にも社会的にも蔑視された人々でした。ザアカイのような徵税人、罪深い女性として知られたマグダラのマリア、重い皮膚病を患った人、フェニキアの異教の婦人など、人々からさげすまれ忌み嫌われた人たちでした。ヤコブの手紙における富める人々への非難のことばも（ヤコブ1・9～11、2・1～13）、コリント人に対する非難

のことばも（1コリント11・17～22）、当時支配的だった宗教的な文化に欠くことのできない、人の名誉と侮辱の重大さが、その背景にあることを忘れてはなりません。

から生まれ、その結果あらゆる痛ましい現象を引き起こします。人間らしい生活ができない物質的な不足という過酷な環境下で、最も弱い人間が社会から疎外され、難民となり、家族もなく孤独な生活を余儀なくされます。さらに、貧困のために精神的に疲労し、生きる意味をも見失って、自分自身の存在について希望を持つなくなる人もいます。貧困は、いつの時代も暴力であり、社会的蔑視も、見えない暴力です。

だからこそ、教会は、神が救いの対象として、貧しく、蔑視された人々を優先的に選んだことを、かれらに告げ知らせる使命があります。イエスは「貧しい人に福音を告げ知らせるために遣わされた」（イザヤ61・1、ルカ4・18参照）のであり、イエス自身も、神の国の到来のしるしとして「目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病

を患っている人は清くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている」（マタイ11・5、ルカ7・22）と断言しました。わたしたちも、イエスが貧しい人々に宛てて告げた福音があることを、言葉ではなく、実際の愛の行いでもって告げましょう。

#### 4. キリストのように貧しくなる

##### 〔キリスト論的センス〕

神は、人間と完全に結ばれるために、「貧しく」なられました。イエスは、「救い主」でありますから、貧しく生まれ（ルカ2・7）、より貧しく生き（マタイ13・55）、宣教し（マタイ8・20）、最も貧しく死んだ「神の子」です（マタイ27・54）。キリストは、「もっとも小さい者」（マタイ25・40）とひとつになることを

望み、自ら貧しくなることによって、貧しい人々と共に一人の人間として生きることを選びました。このキリストの貧しさは、貧しく「ある」ことよりも、他者を富ませるために貧しく「なる」ことに特徴があります。だから、パウロはこう

言います。「主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです」（2コリ8・9）。

ヨハネは、みことばが人間になつたこと（受肉の存在論的事実）を強調しますが（ヨハネ1・14参照）、パウロは神の子の受肉のその在りさま、つまり実存に焦点を当て、キリストが、いやしい身分、苦しむしもべの姿をとつたこと（受肉の救済的意義）を強調します。神の子は「自分を無にして、しもべの身分になり、…へりくだつて、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順」（フィリピ2・7～8）であったのです。飼い葉桶の貧しさから、十字架上の完全自己放棄に至るまで、キリストは、神にのみ信頼する人間がたどる極限の生きざまをわたしたちに示しました。

ところで、イエスは自分の「貧しさ」に対しては、自由でした。洗礼者ヨハネが生活の仕方において厳格であったのに對し、イエスは人々と、飲むことにも、食べることにも、大らかでした。イエスは、愛については、「友のために自分の



命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」（ヨハネ15・13）と言って、十字架の上で愛の模範を示しますが、「貧しさ」について自分を誇るようなことはありませんでした。イエスの貧しさは、その「程度」よりも、貧しさを選んだ「理由」に注目すべきです。それは、人間への愛と救いのためでした。わたしたちも、キリストのように、隣人への愛に駆られて、「貧しい人々への優先的選択」を実践しましょう。

#### 5. 貧しい人にキリストを見る

##### 〔秘跡的センス〕

イエスは、「わたしの兄弟であるこのもっとも小さい者の一人にしたのは、わたししてくれたことである」（マタイ25・40）と断言して、助けを必要として

いる人々の中に、ご自分の姿を見いだした者を祝福します。「さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい」(マタイ25・34)。こうしてイエスは、最後の晩餐でパンを取り、「これはわたしのからだである」と言われたその同じことばを、最後の審判の場面での「小さい者」に当てはめ、自分を貧しい人々と完全に同一視します。聖ヨハネ・クリゾストモ(4世紀の司教教会博士)は、この同一視をよく理解していました。「キリストの体を賛美したいですか。それなら、かれが裸であることを見蔑んではいけません。教会の外で、裸で寒さに震えておられるキリストを忘れて、教会の中で絹の衣をまとうキリストを崇めてはいけません」(マタイ福音書についての説教)。

キリストは、聖体やその他の秘跡と同じく、「貧しい人」の中にも現存します。しかし、「貧しい人」自身が、いつでも、必ず、自分のうちにキリストを有し、自分に気づいた人に自動的にキリストを伝え、恵みを生み出すではありません。わたしたちの方が「貧しい人」と係わるとき、「貧しい人」の中のキリストが恵みとして現存するのです。福者マザーテレサは、「貧しい人に出会うとき、その人の中のキリストを聖体拝領する」と言いました。キリストを愛する人は、貧しい人々を迎え入れます。わたしたちも、貧しい人々を証ししましょう。

## 6. 貧しい人を大切にする

### 〔実践的センス〕

自国の利益と繁栄をこぞって追求する昨今の世界経済のもとで、一握りの人々の手に巨額の資産が集まり、その一方で



多くの人々が貧困と無視に苦しめられています。わたしたちは、この現実から目をそらすことができるでしょうか。その陰で声をあげられず、苦しみと困窮のうちにある貧しい人々に気づき、即座に支援の手をさしのべなければなりません。「あなたがたが彼らに食べる物を与える」(マタイ14・16)。イエスは、これを命じるのです。勧めたのではありません。貧困は神が望まないものであり、社会共同体は避けるべき社会悪として、貧困と闘わなければなりません。教会は、貧しい人のために援助し、社会正義を追求して、貧しい人々に代わって貧困をなくすため、社会の福音化の活動を推進しています。

キリスト者は、キリストに倣って「貧しい人」を愛します。それは同時に、「貧しい人」を大切にし、「貧しい人」の人間としての尊厳を認め、回復することです。日本ではキリスト教時代、信徒たちは、神の愛(カリタス)を意味する「ごたいせつ」の心の実践に力を注ぎました。今、列聖運動をしているユスト高山右近は、父ダリオとともに「ミゼリコルディアの組」に属し、貧しい人々や病者など、

当時の弱い立場の人々の側に立ち、救済活動を熱心に行いました。

教皇パウロ6世が言うように、世界は福音宣教者に、生活の真正な証しとして、「単純質素な生活、祈りの精神、すべての人々に対する愛、とくに小さく貧しい人々への愛、従順、謙遜、離脱、自己犠牲を要求し、期待しています」（『福音宣教』N.76）。2011年の東日本大震災と福島原発事故のあと、節電や脱原発が叫ばれる中、わたしたちキリスト者は何よりも、神から求められる単純質素な生活を選択しましょう。

## 7. 貧しい人々と連帯する

〔救済的センス〕

福音宣教とは、何かを教えることではなく、神の国で起こっていることを伝え、証しすることです。キリスト者はこれを、「貧しさ」のなかで、神のみを信頼する生き方の中で実践しなければなりません。というのも、教会は世界を救つた十字架を宣べ伝えるからです。十字架は、神の「貧しさ」そのものです。その十字架が、失われた人間のいのちの豊か



さを取り戻しました。「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けたためである」（ヨハネ10・10）。キリストの十字架は、わたしたちが豊かにいのちを受けるためのものでした。だから、パウロは言います。「主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです」（2コリ8・9）。

救い主が「貧しくなる」ことは、アダムが犯した罪の結果ゆがめられた人間性を、以前の状態にもどすために、神が選んだ方法でした。キリストは、「神の身

とに固執しようとは思わず」（フィリピ2・6）、神の本質とは正反対の貧しさ、弱さ、愚かさを身に帯びて、墮落した人間を救う方法を選ばれたのです。パウロは、神が望んだこのようないい宣教の本質を見抜いて、こう説明します。「世は自分の知恵で神を知ることができませんでした。そこで神は、宣教という愚かな手段によって信じる者を救おうと、お考えにましたのです」（1コリ1・21）。神は人間を救うために、ご自分の栄光を捨てて、貧しさと弱さを通して実現する「愚かな」宣教という手段を選んだのです。だからこそ、神の選んだ「貧しさ」と、教会が託された宣教とを、切り離すことができないのです。キリスト者は、この愚かな宣教のために選ばれているのです。ヤコブも言います。「神は世の貧しい人たちをあえて選んで、信仰に富ませ、御自身を愛する者に約束された国を、受け継ぐ者となさったではありませんか」（ヤコブ2・5）。わたしたちも、すべての人々のいのちのかがやきを求めて、あえて自らも貧しさを選び、貧しい人々と連帯しましょう。

## 8. 喜んで貧しくなる

### (統合的センス)

キリスト者の「貧しさ」は、禁欲主義の業ではありません。キリスト者の「貧しさ」は、何かが欠けている状態をさすのでもありません。それどころか、イエスのいのちの中に充满する最高の価値、福音という「宝もの」を見つけた人の喜びからくる「豊かさ」なのです。これを、イエスは「隠れた宝のたとえ」(マタイ13・44)で説明します。イエスは、すべてを売ってから、隠れた宝を探しに行きなさいとは言わず、すべてを売ることができるのは、宝を見つけた喜びを知るからだと教えます。神の国を探すために全財産を売るのではなく、神の国を見つけてから、全財産を売るのです。神の国を見つけるだけで、「貧しさ」を選ぶことはできません。「貧しさ」は神の国を得るために払う代価ではありません。「貧しさ」は、神の国を選んだことの結果であり、効果です。これが福音的な貧しさです。

「高価な真珠のたとえ」(マタイ13・13)

45(46)も同じことです。人は、神の国の価値を見つけたら、即座にそれを選択し、手に入れるべきです。見出したときが、人生を変えるときです。神の国を見つめた人は、物質的なものよりも靈的なもの、見えるものよりも見えないもの、一時的なものよりも永遠のものを優先します。わたしたちも、苦しい生活の中でも、お金では買えない福音の宝を見つけ、喜んで貧しさを選ぶ信仰を生きましょう。

## 9. 貧しさを自由に生きる

### (批判的センス)

神の国のために選ぶ福音的な貧しさは、抽象的な理想でもなく、また単なるカリスマでもなく、キリストの人格の神秘に触れ、キリストとの親密なつながりを持つためのものです。というのも、神の国はこの世で、イエスのことばと人格において現存しているからです。したがって、キリストに従う者にとって、「貧しさ」なしのキリストではなく、キリストなしの「貧しさ」もありません。ペトロはイエスに言いました。「このとおり、



わたしたちは何もかも捨ててあなたに従って参りました」(マルコ10・28)。しかし、イエスは従う者に、けっして「貧しさ」を命じることはありませんでした。勧めたのです。イエスは、「貧しさ」を自由に選ぶ人を祝福し、天の国の約束によって、天の父が貧しい人々を引き付けるのだと宣言しました。キリストの弟子であるわたしたちは、この世の富がもはや意味を持たない世界のことを考えて(終末論的動機)、今からキリストの「貧しさ」を自由に選んで生きるという、使徒的で預言的な「貧しさ」を目指すのです。

を求めているわけではありません。むしろ、きょう一日、具体的に貧しく生きることを待っているのです。キリスト者は、聖職者か、修道者か、信徒かの教会内の身分と、各自が置かれた環境にしたがって、自分で「貧しさ」のスタイルを決めるのです。福音的勧告とは、義務ではなく、自由に選ぶものです。これが、修道者の「清貧」、「貞潔」、「従順」の誓願というものです。だれにとっても大切なことは、「貧しい人のために在ること」と「貧しい人で在ること」の均衡をとることです。わたしたちも、各自が見つけた神の国という高価な真珠を失わないために、その光で自分の生活を照らしましょう。

## 10. 貧しい教会になる

### 〔共同体的センス〕

「信者たちは、皆一つになって、すべてのものを共有し、財産や持ち物を売り、おののの必要に応じて、皆でそれを分け合った」(使徒言行録2・44～45、4・32～35も参照)。教会的な交わりの中で、「物質的貧しさ」を分かち合い、「貧しい人」に奉仕することは、キリスト者の共

同体にとっておろそかにできない義務です。教皇フランシスコは言われます。「教会は決して閉鎖的であってはならず、開かれ、すべての人を探し求め、世界の片隅に立ち尽くしている貧しい人々に献身しなければならない」(2013年聖靈降臨のミサ説教)。教会が実行する「貧しい人々への優先的選択」は、共同体全員がそれぞれのやり方で分担し、補い合って、追求することができます。

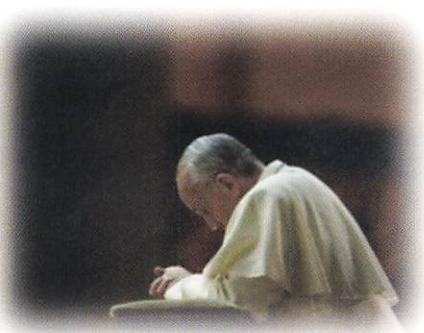
そこで、すべてのキリスト者が「貧しくなる教会」に属していますが、「神の国に入るため」にすべての人に求められる「貧しさ」と、「神の国を告げる人」に求められる「貧しさ」があります。イエスが宣教にあたって弟子たちに、何も持っていないなど命じたように(ルカ10・4)、自分の人生を賭けて神の国を宣べ伝えることを選んだ人は、それを妨害するものを一切身に着けてはならず、みことばだけを携えていくのです。「貧しさ」に徹すれば徹するほど、自分の持ついる物や権威に頼らず、恵みとしていたゞく信仰のみでイエスと交わる喜びを、貧しい人々と分かち合うことができるのです。だから、福音を証しすると言いながら、福音論的センス

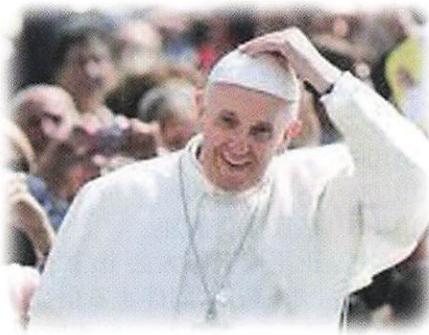
「貧しさ」を選ぶキリスト者の生活は、聖靈とその実によって導かれます。聖靈は、現代人の過剰な消費主義的行動を変え、快樂主義と闘い、貧しい人々に対す

## 11. 貧しい人への愛を聖靈にいのる

### 〔聖靈論的センス〕

「貧しさ」を選ぶキリスト者の生活は、聖靈とその実によって導かれます。聖靈は、現代人の過剰な消費主義的行動を変え、快樂主義と闘い、貧しい人々に対す





る無関心な態度や個人的責任をないがしろにしないように、各自の良心を通して働いています。だから、「愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔軟、節制」という聖靈の実が（ガラテヤ5・22～23）、貧困との闘いと福音的貧しさの実践のための原動力となるのです。父なる神は、わたしたちが聖靈の助けによつて「貧しい人」とともに生きるとき、「貧しい人」にとつてもそうであるように、「貧しさ」を通して伝えられる福音に、謙虚にこころを開く恵みをくださいます。「受けるよりは、与える方が幸いである」（使徒言行録20・35）といエスは言いましたが、「与えること」は、

単なる道徳的な訓戒や命令で行うのではなく、聖靈が人のこころの奥深くに「与えたい」という意志を起こさせることで可能になるのです。

キリスト者の「物質的貧しさ」の追求は、福音の新しさを構成するものです。「互いに愛し合いなさい」というイエスが与える捷の新しさは、旧約の捷以上に内容が厳しいということではなく、その捷を実行するための信仰と聖靈の恵みが、一人ひとりに与えられるところにあります。福音の倫理的な教えも、聖靈の恵みがなければ死んだ文字のままでです。聖靈とはキリストの靈なので、聖靈は、キリストが愛する貧しい人々への愛を育んできます。だから、わたしたちも、貧しい人をすすんで愛することができるよう、聖靈に祈りましょう。

### ■教皇フランシスコとともに

「わたしたちは、『シャツの糊を効かせ過ぎたような堅苦しいキリスト者』、『紅茶を静かにすすりながら神学的な問題を口にするお高くとまったく神の祝日あることは許されません。許されないの

です！」私たちは勇気のあるキリスト者でなければならず、まさに受肉されたキリスト御自身である貧しい人々を探し求めなければなりません」（2013年5月18日 聖靈降臨祭の前晩の講話）。教皇フランシスコは、就任以来、今日の教会にとって「貧しさ」が宣教の基本であることを、はばかることなく述べるとともに、教皇としてはそれまでにない簡素な生活とふるまいでもって、無言のうちにわたしたちに示そうとしています。

わたしたちも教皇とともに、現代の教会を、旧約伝統にあるように、神にのみ信頼をおく謙遜で貧しい者としての「アナウイン」（ヘブライ語で、「主の貧しい者」を指す）の共同体に、造り変えていきましょう。そして、「弱く、貧しい者の友」（聖マリアの連願）である聖母マリアのこころで、貧しい人々に福音があることを告げ、自ら貧しい人となつて、貧しい人とともに歩み、神の「貧しさ」を生きる者となりましょう。

## 5月

- 11日(日) 11:00 宮津ブロック司教訪問  
ガラシア祭 ミサ(宮津)  
14日(水) 14:00 (学法)滋賀カトリック学園  
理事会  
19:30 教区聖書講座  
15日(火) 10:30 教区聖書講座  
16日(水) 14:00 メリノール女子学院 理事会  
17日(木)-18日(金) 大阪教会管区 青年の集い  
20日(日) 14:00 (社福)カトリック京都司教区  
カリタス会 理事会  
21日(水) 14:00(学法)カトリック京都学園・  
京都南カトリック学園 理事会  
22日(木) 10:00 草津カトリック幼稚園 講演会  
23日(金) 「求道者に同伴する信徒」  
養成講座まとめ(宇治カルメル)

## 6月

- 1日(日) 11:00 奈良合同堅信式(大和八木)  
3日(火) 14:00 教区カトリック学校 校長会  
8日(日) ラテンアメリカ共同体 合同堅信式  
(草津)  
10日(水)-12日(木) 大阪管区司牧者研修会  
15日(日) 14:00 三重 合同堅信式(津)  
16日(月)-20日(金) 2014年度定例司教総会(中央協)  
22日(日) 10:30 司教靈名ミサ(河原町)  
14:00 京都南部合同堅信式(河原町)  
24日(水) 14:00 教区 幼稚園連盟 園長会  
26日(木) 10:30 司祭全体集会(河原町)  
28日(土) 9:00 女子カルメル修道会ミサ  
(衣笠修道院)  
29日(日) 10:00 教区青年の集い in 三重

## 7月

- 6日(日) 9:00 舞鶴ブロック司教訪問  
京都北部合同堅信式(西舞鶴)  
20日(日) 9:00 奈良ブロック司教訪問  
(大和郡山)  
27日(日) 10:00 八幡教会 献堂60周年 ミサ  
31日(木)-1日(金) 第8回 京都教区カトリック学校  
教職員修養会

## 8月

- 3日(日) 15:00 西舞鶴教会 英語ミサ  
4日(月) 15:00 比叡山平和の祈り  
5日(火)-7日(木) 教区中学生広島平和巡礼

- 10日(日) 14:00 津教会 英語ミサ  
30日(日) 10:00 教区教会学校教師 研修会  
31日(月) カトリック医療関連学生セミナー  
in 京都 ミサ(洛星高校)

## 9月

- 5日(金)-8日(月) 大船渡ベース訪問  
12日(金) 14:00 メリノール女子学院 理事会  
19:00 奈良聖書講座  
13日(土) 10:00 奈良聖書講座  
14日(日)-15日(月) 正平協全国大会 in 福岡  
18日(水) 14:00 「求道者に同伴する信徒」  
の養成講座  
21日(日) 14:00 三重南部ブロック司教訪問  
(松阪)  
28日(日) 14:00 草津教会・英語ミサ

## 10月

- 4日(土) 10:00 ノートルダム小学校 竣工式  
5日(日) 10:00 長浜教会・ポルトガル語ミサ  
6日(月)-10日(金) 教区司祭 年の黙想  
(軽井沢 宣教クララ会 黙想の家)  
12日(日) 11:00 上野教会「アパレシーダ」  
ポルトガル語ミサ  
19日(日) 10:00 京都コリアンセンターミサ

## 11月

- 2日(日) 14:00 衣笠墓苑 物故者追悼ミサ  
(衣笠教会)  
9日(日) 10:00 田辺教会 創立60周年記念  
感謝ミサ  
11日(火)-13日(木) 日韓司教交流会(韓国)  
15日(土) 高山右近列福を願う集い  
(奈良 郡山城ホール)  
20日(木) 17:00 教区司祭追悼ミサ(河原町)  
26日(水) 14:00 メリノール女子学院 理事会

## 12月

- 6日(土) 13:30 第15回 教区宣教司牧評議会  
16日(火)-18日(木) 社会問題研修会  
24日(木) 21:00 主の降誕深夜ミサ(河原町)  
25日(金) 10:30 主の降誕ミサ(河原町)



## 2014年 大塚司教の主要予定

### 1月

- 1日㊁ 10:30 「神の母聖マリア」新年ミサ  
(河原町)  
5日㊂ 9:00 女子カルメル修道会 ミサ  
(衣笠修道院)  
6日㊂ 11:00 司祭・修道者 新年ミサ  
(河原町)  
10日㊃ 10:00 メリノール女子学院  
創立50周年記念 感謝ミサ  
12日㊂ 14:00 草津教会・ポルトガル語ミサ  
14日㊁ 14:00 (社福)カトリック京都司教区  
カリタス会 理事会  
19日㊂-26日㊂ 西宮トラピスチン修道院  
黙想会  
31日㊃ 10:00 青谷聖家族幼稚園  
新園舎竣工式

### 2月

- 1日㊁ 10:00 故パウロ古屋司教命日  
衣笠墓参  
2日㊂ 9:00 洛北ブロック司教訪問(小山)  
15:00 26聖人殉教者顕彰・高山右近  
列福祈願 ミサ(河原町)  
4日㊁ 11:00 聖家族幼稚園  
聖堂訪問贊美式(河原町)  
8日㊁ 9:30 洛星高等学校卒業式  
9日㊂ 10:00 三重北部ブロック司教訪問  
(鈴鹿)  
11日㊁ 10:30 聖ヨゼフ福祉医療センター  
50周年式典(京都ホテル)  
14日㊃ 11:00 聖テレジア幼稚園  
新園舎建設起工式  
15日㊁ 10:00 京都聖母学院高等学校 卒業式  
京都教区青年センター創立25周年記念  
16日㊂ 9:00 西陣教会ミサ  
13:30 京都教区女子奉獻生活者の会  
総会ミサ(河原町)  
17日㊂-21日㊃ 2013年度 臨時司教総会  
(中央協)  
22日㊁ 9:30 京都聖カタリナ高等学校  
卒業式  
23日㊂ 10:00 滋賀ブロック司教訪問(草津)

28日㊁ 10:00 ノートルダム女学院高等学校  
卒業式

### 3月

- 1日㊁ 10:00 メリノール女子学院高等学校  
卒業式  
2日㊂ 11:00 山城ブロック司教訪問(精華)  
4日㊁ 10:00 長岡幼稚園感謝の祈り(河原町)  
8日㊁ 10:00 京都ノートルダム女子大学  
卒業式  
9日㊂ 10:30 洛東ブロック司教訪問(河原町)  
東日本大震災3周年・犠牲者追悼・復興祈願  
11日㊁ 14:00 (学法)滋賀カトリック学園  
理事会(大津)  
12日㊁ 14:00 (学法)カトリック京都学園・  
京都南カトリック学園 理事会  
14日㊃ 10:00 京都聖母学院小学校 卒業式  
15日㊁ 10:00 ノートルダム学院小学校 卒業式  
16日㊂ 11:00 三重南部ブロック司教訪問  
(名張)  
18日㊁ 14:00 (社福)カトリック京都司教区  
カリタス会 理事会  
23日㊂-25日㊁ 青森・鮫町教会  
四旬節 黙想会

- 26日㊁ 15:00 教区保育者研修会 ミサ  
27日㊁-29日㊁ 侍者合宿  
29日㊁ 11:00 召命祈願のミサ(河原町)  
30日㊂ 11:00 京丹ブロック司教訪問(長岡)

### 4月

- 6日㊂ 8:30 奈良ブロック司教訪問  
(大和高田)  
13日㊂ 16:00 四日市教会・ポルトガル語ミサ  
16日㊁ 11:00 聖香油ミサ



- 17日㊁ 19:00 主の晚餐(河原町)  
18日㊁ 19:00 主の受難(河原町)  
19日㊁ 19:00 復活徹夜祭(河原町)  
20日㊂ 10:30 主の復活 ミサ(河原町)  
27日㊂ 14:00 新信者の集い(河原町)  
29日㊁ 11:00 右近こども祭りミサ(大和榛原)

## 大塚司教の

1月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日㊁ 10:30 「神の母聖マリア」新年ミサ  
(河原町)
- 5日㊂ 9:00 女子カルメル修道会 ミサ  
(衣笠修道院)
- 6日㊃ 11:00 司祭・修道者 新年ミサ  
(河原町)
- 8日㊄ 13:00 中央協 予算検討会
- 9日㊅ 10:00 中央協 常任司教委員会
- 10日㊆ 10:00 メリノール女子学院  
創立50周年記念 感謝ミサ

## 1月のお知らせ

## 教 区

## 聖書委員会

## よく分かる聖書の学び

日 時：15日㊁ 10:30

講 師：北村 善朗師／参加費：300円

会 場：カトリック会館6階

問合せ：Tel.075(211)3484㊁㊁

## 修 道 会

## 男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

## 一般のための黙想(今泉 健師)

日 時：11日㊂ 17:00～12日㊃ 16:00

テー マ：念祷生活

参加費：6,500円(宿泊・食事込)

## 水曜黙想(松田 浩一師)

日 時：15日㊁ 10:00～16:00

テー マ：キリスト信者の祈りのカテキズム

参加費：2,700円(昼食代他)

## 社会人のための靈的同伴(松田 浩一師)

日 時：24日㊆ 20:00～25日㊁ 15:00

参加費：5,500円(宿泊・食事込)

- 12日㊁ 14:00 草津教会・ポルトガル語ミサ
- 14日㊃ 14:00 (社福)カトリック京都司教区  
カリタス会 理事会
- 15日㊄ 14:00 大阪教会管区 結婚法務  
担当者会議(京都)
- 16日㊅ 10:00 司教顧問会
- 19日㊇-26日㊈ 西宮トラピスチン修道院  
黙想会
- 28日㊉ 11:00 大阪教会管区 司教会議  
(大阪大司教館)
- 31日㊊ 10:00 青谷聖家族幼稚園  
新園舎竣工式

## 諸 団 体

## 京都カトリック混声合唱団

練 習：12日㊁ 14:00／25日㊈ 18:15 ミサ奉仕後  
カトリック会館6階

## コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：9日㊁／23日㊁／30日㊁ 10:00  
カトリック会館6階

## 心のともしび 番組案内

テレビ(衛星.CATV)スカイAスポーツプラス  
毎週土曜日 朝 7:45

4日放送分より新シリーズ

出演は森田 直樹師(現在仙台教区)

ラジオ(KBS京都) ㊁～㊃ 朝 5:15

1月のテーマ「心新たに」

## 京都教区サポートセンター

東日本大震災「大船渡支援」献金報告  
11月分 1,085,558円／累計 34,756,584円

「大船渡支援」献金 郵便振替口座

口座番号「01000-2-0024724」

加入者名「カトリック京都司教区本部事務局」

摘要欄に「大船渡支援」とご記入ください。

## ボランティア募集中

詳細は京都教区ホームページをクリック

京都教区

検索

※ 2014年3月号の原稿締切り日は1月22日㊁です。